

## 近隣住民に対する説明会実施結果

(旧中野刑務所正門取扱い方針案・平和の森小学校新校舎整備スケジュール)

### 1 開催日時及び会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
12月23日(水) 19時30分～21時10分	新井区民活動センター	24人

### 2 説明会で寄せられた主な質問・意見、区の考え方について

No.	主な質問・意見	区の考え方
①	正門を残す理由として、民主主義の歴史、政治史といった視点が入っていないのはなぜか。	区民の皆さんの中には色々な考えがある中、正門にかかる政治思想の側面ではなく、建築物としての価値を評価したためである。
②	現地性ということを考えると、平和の森公園に平和の森小学校を移転し、正門はそのまま現地保存とし、矯正管区敷地を広場にしてはどうか。	現地性ということは重要だが、教育環境との両立を考えると難しく、刑務所のあった敷地内での正門の移動であれば、場所の記憶を留めるという点で許容範囲と考えた。 また、矯正管区敷地は学校用地としての取得を国に申請している。
③	敷地内に平和の森公園に避難するための道路が計画されているが、この敷地が区のものになり、小学校ができるのであれば、道路は不要ではないか。	平和の森公園は広域避難場所になっており、ここに避難するため道路は必要だと考えている。
④	教育環境のため曳家をすると言うが、教育環境とは面積のことなのか、あるいは正門があると子どもの教育に悪影響を与えるということなのか。詳しく説明してほしい。	文化財保護審議会の答申で示された、正門の公開に必要な面積を移転しないままに確保するとなると、望ましい教育環境が確保できなくなる。ここで言う教育環境とは、望ましい学校活動に必要なスペースのことである。
⑤	正門を取り込んで一体的に学校を作るといった考えはないのか。	安全管理上、学校の敷地と正門とは分ける必要があると考えている。

No.	主な質問・意見	区の考え方
⑥	正門はいつ区の文化財に指定するのか。	現時点では国が所有しているため、時期については明言できない。
⑦	新校舎の整備計画を考える際には、子どもたち等の意見を聞いていくべきではないか。	新校舎整備については、基本計画の策定段階において、児童や教職員及び区民からの意見を伺う機会を設けていきたいと考えている。
⑧	現在の平和の森小学校の敷地を新校舎の一部にしてはどうか。	新校舎への移転後の現在の平和の森小学校の敷地についてどうするかは、現時点では決定していない。ただ、敷地の購入には約100億円を要することを考えると、原資をどこから持ってくるか、それを解決する必要がある。
⑨	正門を西側に移築するのではなく、水道局の敷地に移してはどうか。	水道局の敷地は東京都のものであり、正門の公開場所には適さないと考える。
⑩	正門の移設先に西側が有力視されているが、東側ではなぜ駄目なのか、その理由を明確にしてほしい。	学校敷地内への出入りという点においても、矯正管区敷地の東側は学校の敷地として使いたい。また、東側に移設した場合、矯正会館が正門の正面となるため、鑑賞が難しくなると考えている。
⑪	正門の歴史を語らなくても、そこに在るといっただけで、子どもたちがあの門は何だったのだろうかと感じて成長し、自分の考えを周囲に伝えていく。刑務所があった敷地内に正門を残すという判断に感謝したい。	ご意見として承る。
⑫	正門の文化財的価値については否定していない。しかし、現在の平和の森小学校の敷地が狭小で、建物が古いという現状を考えると、1日でも早い新校舎の完成、そして1平米でも広い教育環境の整備を要望する。	教育委員会では1日も早く子どもたちがのびのびと過ごせる環境を作りたいと考えている。敷地が区の所有となったら、それに向けて努力してまいりたい。

No.	主な質問・意見	区の考え方
⑬	<p>矯正管区敷地の地面があがっているのは、刑務所の地中埋設物が原因だと思う。敷地を国が整地して、区に売却するのであれば、正門の揚家という工程がなくなるとなる。そうなれば時間短縮が図られ、学校が早く開校できるのではないかと。</p>	<p>国が整地することではなく、矯正管区敷地は現状のままで区に売却される。旧研修所の建物も区が跡地を取得した後に区が解体及び整地を行うことになる。</p> <p>昨年実施した学術調査では、現地保存をする場合、より精緻に正門を残すには揚家か、周辺を掘削して保存するのが望ましいということだった。</p> <p>地中埋設物の状況についても、今後、現地調査等を行う中で明らかになると考えている。</p>
⑭	<p>正門と新しい校舎は物理的に近いので、完全に切り離すことは難しい。ひとつの大きなプロジェクトとして、区民の意見を反映しながら進めてほしい。また、西側に移築した場合だが、その移転先はどうするつもりか。</p>	<p>正門の移転先については、正門の公開ということを考えると、一定程度のセキュリティを図りながら活用していくことが望ましいと考える。</p>
⑮	<p>さまざまな意見がある中、それらを調整し、取扱い方針の案が作られたことを大変評価している。ただ、社会的な記憶をまちづくりに活かすという考えに基づけば、正門については十分にそれがなされておらず、正門の存在が知られていない。地域の多くの人々が正門の今後について話し合うための仕掛けを作るべきである。子どもたちに深い学びの機会を与えるためにも、正門を活用してほしい。</p>	<p>正門はまだまだ知られていないということをふまえ、今後、保存活用計画を策定する中で、検討してまいりたい。</p>